

平成28年度 文京区障害者地域自立支援協議会
第3回権利擁護専門部会 次第

- 1 日時 平成28年12月7日(水)午後6時30分から
- 2 場所 文京区民センター3階 3-D会議室

1 開会

2 議題

(1) 前回の振り返り(意思決定支援、成年後見制度について)

(2) 住まいの問題について(現状報告および意見交換)

(3) 差別解消啓発グッズ作成に伴う意見聴取について

3 その他

【配付資料】

- ・開催次第
- ・資料第1号 入所施設等の入所者数と入所場所について
- ・資料第2号 差別解消啓発グッズ作成に伴う意見聴取について

入所施設等の入所者数と入所場所について

1 入所施設等の入所者数と入所場所

平成 26 年 4 月 1 日現在の各施設等入所者数の合計は、206 人となっています。

	手帳所得者数	施設入所	グループ ホーム	宿泊型 自立訓練	各施設等 入所者数合計
身体障害者	4,647	17	1	—	18
(うち区外都内)	—	0	0	—	0
(うち都外)	—	10	0	—	10
知的障害者	817	88	70	1	159
(うち区外都内)	—	35	33	1	69
(うち都外)	—	53	22	0	75
精神障害者	1,013	—	28	1	29
(うち区外都内)	—	—	11	1	12
(うち都外)	—	—	5	0	5
合計	6,477	105	99	2	206
(うち区外都内)	—	35	44	2	81
(うち都外)	—	63	27	0	90

※「文の京（ふみのみやこ）」ハートフルプラン、文京区地域福祉保健計画、障害者計画（平成 27 年度から平成 29 年度）第 3 章障害者・障害児を取り巻く現状より抜粋一部加筆

1-2 都内精神科医療機関における入院者数

平成 25 年度		平成 24 年度		平成 23 年度		平成 22 年度	
入院患者数	(再掲) 1 年以上	入院患者数	(再掲) 1 年以上	入院患者数	(再掲) 1 年以上	入院患者数	(再掲) 1 年以上
138	70	150	81	160	87	166	88

※各年 6 月 30 日現在の入院患者数（入院形態・疾患名・病状・年齢等は不明）

平成 28.3.25 事務連絡（平成 25 年度精神保健福祉資料等における精神科病院入院者数の情報提供について）より予防対策課にて作成

2 主な入所理由

(身体障害)

- ・身体障害に伴うADL（日常生活動作）の低下等により、在宅での単身生活又は家族介護（障害福祉サービスを入れている場合も含む。）が困難で、施設で生活した方が安心した生活ができるため。
- ・両親などの介護者は健在だが、文京区内に施設が出来たのを機に。
- ・知的障害との重複、精神科受診が必要であったり、高次脳機能障害を併発している場合もある。著しく生活意欲が減退している場合などもある。

(知的障害)

- ・行動障害やADL（日常生活動作）の低下、家族の高齢化等により、在宅での生活や家族介護（障害福祉サービスを利用している場合も含む。）が困難で、施設で生活した方が安心して生活ができるため。

(精神障害)

- ・立ち退きや親の死亡をきっかけに自宅での生活が継続できずグループホームへ。
- ・入院や施設入所（一時保護）をきっかけに、近くのグループホームへ。
- ・家族との同居が病状悪化につながる。距離をとるためグループホームへ。

障害者差別解消啓発グッズの作成について

障害者差別解消法施行に伴い、障害者理解を一般的に周知・啓発するため、普及啓発グッズを作成し配布する。

■作成スケジュール（予定）

12 月中 かるた・カレンダー（案）意見聴取
 1 月中旬 最終校正
 1 月中旬～3 月 印刷
 3 月末 納品

■配布時期

平成 29 年度

■普及啓発グッズ

種類	対象者	内容	部数	主な配布先（予定）	備考
かるた	こども (学校等)	遊びを通じて障害者 や障害に対する理解 を学べるような内容 とする	500 セット	区立小学校 1 学年各組 ^{※1} 特別支援学校 国立幼・小、私立幼・保・小学校 ^{※2} 児童館・育成室 等	資料第 2-2 号
日めくり 卓上カレンダー	企業 一般区民	毎日繰り返し目にす ることで障害者や障 害に対する理解を深 められる内容とする	1,500 セット	区内企業 区内福祉事業所 一般配布 等	資料第 2-3 号
クリアファイル	こども 企業 一般区民	50 音の点字表(点字 付)・指文字表・かる たの一部を掲載	5,000 部	区立小中学校 1 学年全員 特別支援学校 国立幼・小、私立幼・保・小学校 ^{※2} 児童館・育成室 等	資料第 2-4 号

※1 学校配布については、学年の指定は行っていない。(小学 4 年生、中学 2 年生を想定)

※2 国立・私立へのかるたは 1 校 1 セット、クリアファイル部数は検討中。

■意見聴取について

かるた、カレンダーの内容及びイラスト（資料第 2-2、2-3 号）について、下記の会議体及び団体からご意見をいただく。

- ・権利擁護専門部会
- ・障害当事者部会^{※3}
- ・障害者団体

※3 クリアファイル（資料第 2-4 号）に掲載するかるたの選別についてもご意見をいただく予定。

障害者差別解消啓発かるた(案)

	句	絵札のイメージ	参考イラスト等その他
あ	あいことば 「なにかおてつだいしましょうか？」	お店で車いすの人に対して、高いところの商品を取るのを手伝おうとしている子ども。「なにかおてつだいしましょうか？」と声をかけている様子。	差別解消パンフ「誰もが暮らしやすいまち」P7右下
い	いろちがい ひとによっては おなじいろ	赤も緑も茶色っぽく見える色の再現図。すけだちくんコメント「こんなふうに見えにくい人もいるよ」	「カラーユニバーサルデザインを含む情報提供ガイドライン」P20下 配色の例
う	うれしいな わたしのとくい ほめられて	自分の得意分野(計算、電車、絵等)をみんなにほめられて、うれしそうな様子。	
え	えんりよなく つたえてあなたの こまったきもち	道路にある地図(案内板)の前で困っている人に気づいて声をかけようとしている人。	
お	おしえられ はじめてきづく クラクション	後ろから近づく車のクラクションに気づかず、そばにいる人に教えられハツとしている様子。	
か	かいじょけん わたしのでとなり あしとなり	車いすの人のところに物を持ってくる介助犬。	
き	きづいたら ゆうきをだして こえかけて	駅の構内でどちらに行っていいいかわからず立ち止まっている視覚障害者に対して、「なにかお困りですか？」とがんばって声をかけることも。	登場のふたりは「み」の札と同じ人にする。
く	くるまいす ちいさなだんさが すすめない	小さな段差を前に進めなくて困っている人と、気づいて近づく人。	差別解消パンフ「誰もが暮らしやすいまち」P6下
け	けがをして みんなのやさしさ きづくぼく	松葉杖をつくこどもとその子の荷物持ってくれているを友達。	
こ	コンコンコン あんぜんかくにん つえのおと	白杖を持って、歩いている方(杖で道をコンコン叩いている。)	
さ	ささえあう ところをつなぐ ヘルプカード	ヘルプカードを見て、電話をかけてくれている人。本人ホッとした様子。	
し	しろいつえ みえないひとの だいじなめ	白い杖を持って歩いている。(障害物をよけて)	
す	すけだちくん ヘルプカードの こうほうたいし	ヘルプカードを持ったすけだちくん。	
せ	せつめいは ゆっくりはっきり かんたんに	早口で説明をしている人を何人かが聞いていて、ポカンとなっている子、「早いよ～」と不満げな子等。	
そ	そとからは みえないふじゆう きづくかな	電車内でヘルプマークをつけた人に席を譲る人。ハートプラスマークの絵。	

	句	絵札のイメージ	参考イラスト等その他
た	たもくてき おもいやりが さいゆうせん	多目的トイレの前に並ぶ列で先に並んでいた健常者が、車いすの方に順番を譲っている。	
ち	ちょっとだけ とめたじてんしゃ あぶないよ	点字ブロック上に自転車が止まっていて、白杖を持った方、車いすの方が困っている。	
つ	つたわるよ ひつだんボードで コミュニケーション	筆談ボードを使ってコミュニケーションする人。	
て	できないを できるにかえる おもいやり	簡単な地図を渡されて、「これなら一人で行ける！」って明るい表情になっている人。	
と	とうきょうで かがやけ 미래のパラリンピアン	パラリンピック選手たち(例:車いすバスケ、陸上、水泳、柔道、視覚障害ランナー等)、パラリンピックのマーク。	
な	なりたいな ころのとびらを あけるひと	丸テーブルで話すふたり。落ち込んだ様子で話をしている人と話をうなずきながら親身に聞いている人。	
に	にっこりと えがおでできる よゆうもち	車いす利用者と押している人がともに笑顔で景色を見ている様子。(景色:東大赤門「あれが東大赤門か！すごいね～」)	
ぬ	ぬくもりが まちにあふれる ぶんきょうく	商店街。挨拶を交わす人たち。商店の人や白杖の人、赤ちゃん連れベビーカー。	白杖の人と赤ちゃん連れ。「リ」の札にも登場。
ね	ねえ、ちょっと わたしのほうを みてほしい	ヘルパーさんの問いかけが、こども本人ではなくお母さんにしているため、本人は不満げ。(例:「今日はどこに行きますか？」お母さん「図書館へ」本人「公園がいいのに……」)	
の	ノックのおと らいきやくしらせる ちょうどうけん	部屋のノックの音を聴導犬が知らせている様子。	
は	「はいどうぞ」とびらをあける おてつだい	扉の前で片まひの方にドアを開けてあげている子ども。	
ひ	ピクトグラム だれでもわかる あんないばん	街でよく見るピクトグラム(多機能トイレ、非常口、エレベータ等)	
ふ	ふれあいのつどい こせいがひかる さくひんてん	絵や工作物の作品展とそれを見学する親子連れ。「これぼく作ったんだよ！」みたいな男の子。	
へ	ヘルプマーク みんなのたすけが ひつようです	ヘルプマークとヘルプマークをかばんにつけている人。	
ほ	ほちょうきで きこえをてだすけ きみのこえ	歌を歌っている女の子。歌が聞こえてうれしそうな表情の補聴器をつけた男の子。	

	句	絵札のイメージ	参考イラスト等その他
ま	まちにでて みつけてみよう バリアフリー	屋外で子どもたちがまちの探検をしながら、バリアフリー(段差スロープ等)を見つける。すけだちくんコメント「ほかにもいろいろなバリアフリーがあるよ！」	
み	みえなくても きみのしんせつ みえてるよ	白杖をもった人に肩を触ってもらい階段を誘導することも。「この先階段を登ります！」	登場人物「き」の札と同じ。
む	むりしない ペースはそれぞれ 合わせよう	粘土工作に取り組む二人の子。一人は「完成！」一人は黙々と作業を続ける。	登場人物と作品「わ」の札とリンク
め	めにみえる ことばではなす 「こんにちは」	手話で挨拶を交わす人たち。(下に手話の『こんにちは』)	
も	もうどうけん ペットじゃないよ おしごとちゅう	盲導犬を連れて歩いている人。盲導犬は凜としてお仕事中和という感じ。	
や	やってみよう じぶんのなまえ ゆびもじで	手話で自己紹介する人。セリフ「私の名前はすずきです。」(下に指文字の『す』『ず』『き』)	
ゆ	ゆうせんせき けいたいマナー まもろうね	優先席前に立っている人が携帯電話をOFFにする。優先席の人はほっとした様子。優先席の人はバックにヘルプマークをつけている。	
よ	よんでみよう さわるえほんや きこえるほん	点字絵本を手で触る子ども。	
ら	らくらくと かいだんのぼる しょうこうき	車いすの方が階段昇降機で階段を登る様子。	
り	りかいある こえかけ・はいりよの あるまちへ	まちで白杖の人が点字ブロックの上を安心して歩いている(自転車整理されている)。段差の前でベビーカーをいっしょに持ち上げてくれる人。やさしく見守る人たち。	登場人物白杖の人、赤ちゃん連れ「ぬ」の札と同じ。
る	ルーティーンを きめてこころ おだやかに	決めた段取りをこなして家を出ることも(着替え(洋服)→あさごはん(食事)→歯みがき(歯ブラシ)→元気に家を出ることも「行ってきます」)	
れ	レストラン バリアフリーで いただきます	レストランの席で盲導犬を足元に連れている人と食事をする人。別のテーブルでは車椅子の人と家族が楽しそうに食事をしている。	
ろ	ろっこのでん とびでたぼこぼこ ゆびでよむ	点字の六点の絵と点字を読む人の様子。	
わ	わかりあう ひとりひとりの ちがうとこ	粘土工作の作品の数々。(コップ、家、皿、恐竜、アーティスティックな塔等)僕の作品と指差す子どもたち。	「む」の札の子ども、作品とリンク
を	にゆうりよくを たすけるそうちで いしつたえ	重度の車いす利用者がまばたき等によってパソコンの入力をして、意思を伝える様子。	
ん	みとめあう しゃかいをめざす イエローリボン	すけだちくんも参加し手をつなぐぎ輪になる人たち。輪の中心にイエローリボン。	



く
るまいす

ちいさなだんさが
すすめない

A smaller version of the illustration from the first image, showing the boy in the wheelchair looking at the step, enclosed in a light green circle. The text is arranged vertically in the center of the white rectangular frame.

差別解消啓発カレンダー(案)

タイトル	文章(100字以内想定)	イラスト(イメージ案)	参考イラスト等	備考
声をかけてみましょう	街の中や身近な場所で、障害のある人が困っている様子を見かけたら声をかけて手助けをお願いします。	かるた『く』に気がついて「何かお手伝いしましょうか?」と聞いている様子		1日に掲載
知っていますか? 「ヘルプカード」「ヘルプマーク」	外見からは分からなくても援助が必要な人がヘルプマークを身につけています。 また、ヘルプカードには、日常生活で困った時や災害時に、その人にあった支援方法や連絡先が書かれています。	かるた『す』『へ』		
イエローリボンってなんだろう?	障害者権利条約を目指す、だれもがその人らしく心ゆたかに共に暮らし、学び、働くことができる社会をつくっていくためのシンボルマークです。	イエローリボンマーク(右イラスト)		3日に掲載
障害者週間	障害者基本法に基づき、12月3日～9日は障害者週間です。 文京区では、障害について理解と関心を深めていただくため、障害のある人たちの作品展等を開催しています。			
ハートフル工房でお買い物	障害のある人の就労と社会参加、工賃アップを目的に、区内の障害者施設の商品販売会をしています。障害のある人が店員となり販売しています。	①数店舗のブースがあり、販売会をしている様子 ②実際販売している品物(クッキー、筆箱、しおり、コースター)などのイラスト化 ③ハートフル工房のQRコード		
「働く」を応援します!	障害のある人ご本人だけでなく、ご家族、施設、企業からのご相談から就職まで、一人ひとりにあった「働きたい」を応援(支援)しています。	雇用主と障害者が笑顔で握手している様子		
車椅子の絵だけど…	よく目にするこのマーク、車椅子の人だけを指すマークではありません。 全ての障害のある人を示す世界共通のシンボルマークです。	①障害者のシンボルマーク(右イラスト) ②シンボルマークが描かれている駐車場		
障害者差別解消法	国や市区町村、会社やお店には「不当な差別的取扱の禁止」と「合理的配慮の提供」が求められています。 障害を理由とする差別のない共生社会の実現に向けて取り組んでいきましょう。	「合理的配慮」: 簡易スロープが設置されている場所など		

タイトル	文章(100字以内想定)	イラスト(イメージ案)	参考イラスト等	備考
盲導犬だけじゃない補助犬	補助犬は障害者の身体の一部として大事な役割を担っています。常に集中して仕事をしているので勝手に触ったり、話しかけたりしないようにしましょう。	①盲導犬の働く様子 ②聴導犬の働く様子 ③介助犬の働く様子 ※①②③イラストの下に記載 「盲導犬」「聴導犬」「介助犬」		
補助犬はどこでも一緒	お店や病院などへの補助犬の同伴は、「身体障害者補助犬法」により受け入れる義務があります。補助犬は、ユーザーの指示に従い待機することができるので、特別な設備は必要ありません。	①かるた『れ』の補助犬部分のみ ②ほじょ犬シンボルマーク(右イラスト)		
手足が不自由なひとについて	身体に障害がある人の中には、階段の昇り降りや扉の開け閉めが難しい人がいます。困っている様子に気づいたら声をかけてみましょう。	かるた『は』		
小さな段差が大きなハードル	自転車で坂道や段差を進むのが大変なように、車椅子もなかなか大変です。困っている様子に気づいたら声をかけてみましょう。また、一人では難しいと感じた時は、周りの人の協力も必要です。	段差の昇降の仕方 ※イラストの下に記載 「越えるとき」 「降りるとき」		
「白い杖≠全く見えない人」	白杖は全く見えない人だけでなく、見えにくい人たちも使用しています。	見えにくいいろいろ ※イラストの下に記載 「見えるところと見えないところがある」 「ぼやけて見えにくい」		・「白杖」に「はくじょう」ルビを付ける。 ・心のバリアフリーハンドブックP10を参考
点字ブロック	点字ブロックは線状の誘導ブロックと点状の警告ブロックの2種類があります。ブロックは視覚に障害がある人の大切な情報のため、自転車や荷物などを置かないよう注意しましょう。	①誘導ブロック ②警告ブロック ③点字の上に自転車など置かれている様子 ※①②イラストの下に記載 「誘導(線状)ブロック: 進行方向を示します。」 「警告(点状)ブロック: 注意喚起を示します。」		
「色のバリアフリー？」	文字と背景の配色によって、読みやすさが違います。コントラストでメリハリをつけることで、見やすくなります。文京区発行の「情報提供ガイドライン」をご活用ください。	ガイドラインのP.16のイラスト(右イラスト)		
音声コードで読み上げます	音声コードとは、QRコードと同じ印刷物上の切手大の二次元コードです。スマートフォンや音声読取装置で読み込むと、内容を読み上げます。誰かに読んでもらうことなく、内容を把握できます。	音声コード		

タイトル	文章(100字以内想定)	イラスト(イメージ案)	参考イラスト等	備考
二人分の目	視覚障害の人と一緒に歩く場合は、肩や肘の少し上を掴んでもらって半歩先を歩きましょう。歩くペースを聞いたり、段差などを伝える事も大切です。	白杖を持った人を誘導している様子		
手話の挨拶(おはよう、こんにちは)	手や身体を使うだけでなく、相手の目を見て声にだして伝えることも大切です。	手話の絵 おはよう、こんにちは		
手話の挨拶(ありがとう、ごめんなさい)	表情豊かに伝えることも大切です。	手話の絵 ありがとう、ごめんなさい		
情報の見える化	聴覚に障害のある人は、耳から得る情報は取得しにくいので、目から得る情報が必要です。	① 駅などでアナウンスと電光掲示板両方が流れている様子 ② アナウンスしてる人とその内容が書かれたボードを掲げてる人の様子(「最後尾はこちらです」など)		
コミュニケーションの方法	コミュニケーションの方法には手話のほかに筆談、口話(口の動きを読むこと)、音声認識ソフト(スマートフォン等)など、様々な手段があります。その人に合った方法でコミュニケーションをお願いします。	① 筆談している ② すけだちくん ※②にふき出し「筆談は知的障害や高次脳機能障害の人とのコミュニケーションにも有効だよ」		
知的障害」とは？	知的な発達に遅れがあるため、日常生活の中で様々な不自由が生じています。周囲の人々の理解や協力があれば、安心して日常生活を送ることが出来ます。	社会で働いている人たちの様子(パン工房で生地を練ってる様子など)		
不器用になっちゃうコミュニケーション	自分の気持ちを相手に伝えることが上手にできません。ゆっくり、具体的にわかりやすい言葉を使いましょう。話の内容を理解することが苦手です。急がずに言葉が出てくるのを待ちながら会話をしましょう。	頭の中が整理できてなく、こんがらがってしまっている様子。		
気持ちの整理中	気持ちを切り替えることが難しいので、緊張やイライラで不安になり、パニックになってしまうことがあります。そんな時は、優しい気持ちでそっと見守ってください。	パニックになっている様子の人と見守ってる人 ※見守っている人の周りに「大丈夫だよ」文字。(右2つ目の絵のレイアウトイメージ)		

タイトル	文章(100字以内想定)	イラスト(イメージ案)	参考イラスト等	備考
「精神障害」って？	精神機能に障害が生じ、日常生活や社会生活が困難になる状態です。 「統合失調症」「躁うつ病」などのほかに、「心的ストレス障害(PTSD)」「依存障害」「認知症」も精神障害に含まれます。誰にでもなる可能性があり、ストレスや病気など要因は様々です。	①布団にくるまって人 ②書類に囲まれてグッタリしてる人		
精神障害は誤解されやすい？	「精神障害者」は誤解や偏見により差別をされてしまうことがあります。正しい服薬や規則正しい生活、周囲のサポートなどにより、安定した日常生活を送る事ができます。	規則正しい生活の様子(朝元気に目覚めている様子など)		
心に寄りそうサポート	精神障害の症状は人によってそれぞれ違います。また、いつもできていることができない日もあることを理解しましょう。安心して相談できる環境があることも大切です。	かるた『な』 ※一人にヘルプマークを付けて穏やかに会話している様子		
「発達障害」って？	「自閉症」「アスペルガー症候群」「注意欠陥多動性障害(AD/HD)」「学習障害(LD)」があり、大人になって診断を受ける人もいます。発達障害は、苦手なことだけが多いのではなく、得意なことに磨きをかけて活躍している人もいます。	かるた『う』		
「難病」は字のとおり治療が難しい病です。	原因がわからないため、治療方法が確立していない病気です。「パーキンソン病」など300を超える疾患があります。見える症状がある人は偏見や差別を、見えない症状の人は、誤解をうけることがあります。	①研究している様子 ②問診をうけている様子		
見える障害だけでなく見えない障害「内部障害」	心臓や腎臓などの臓器の働きが低下又は失っている障害で、日常生活が制限されます。細菌やウイルスに感染しやすいので、風邪などをひいている時はうつさないよう注意しましょう。	ハートプラスのマーク(右のマーク) ※マークの下に記載 「身体内部に障害がある人のマークです。」		
「内部障害」への思いやり	ペースメーカーつけている人のそばでの携帯電話、呼吸器機能障害の人のそばでのタバコは控えましょう。膀胱・直腸機能障害で人工肛門などをつけている人(オストメイト)にはオストメイト対応トイレが必要です。	①優先席での携帯OFFしている人とそれを見て、安心して人々の様子 ②呼吸器をつけている人に気づいてタバコの火を消す人の様子 ③オストメイトのマーク(右のマーク) ※マークの下に記載 「オストメイトの設備が整っているトイレに貼られています。」		
「高次脳機能障害」	事故や病気などで脳を損傷して生じた障害です。失語や記憶障害、感情のコントロールが難しいなど人によって様々な症状があります。ゆっくりと分かりやすい言葉で話をしましょう。メモを活用することも有効です。	仕事の指示をしている様子(ヘルプマークをつけている人はメモをとっている)		

12日

足ることを

知ることこそが、

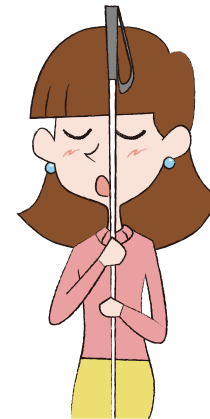
幸福である。

森鷗外

もりおうがい…小説家・軍医など。代表作は『舞姫』『高瀬舟』。
千駄木の「森鷗外記念館」は旧居「観潮楼」跡地に建っている。

白杖について

街中で白杖を高くあげているのは手助けを必要としているサインです。「どうしましたか？ お手伝いしましょうか？」など声をかけて手助けをしましょう。



12日

もりおうがい…小説家・軍医など。代表作は『舞姫』『高瀬舟』。
千駄木の「森鷗外記念館」は旧居「観潮楼」跡地に建っている。

森鷗外

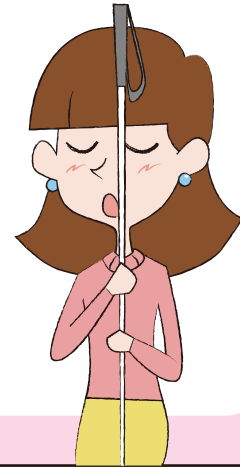
幸福である。

知ることこそが、

足ることを

白杖について

街中で白杖を高くあげているのは手助けを必要としているサインです。「どうしましたか？ お手伝いしましょうか？」など声をかけて手助けをしましょう。



12日

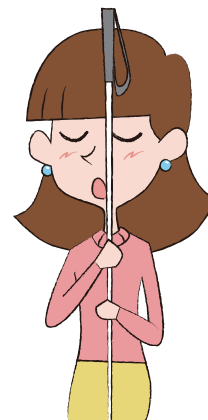
もりおうがい…小説家・軍医など。代表作は『舞姫』『高瀬舟』。
千駄木の「森鷗外記念館」は旧居「観潮楼」跡地に建っている。

森鷗外

足ることを
知ることこそが、
幸福である。

白杖について

街中で白杖を高くあげているのは手助けを必要としているサインです。「どうしましたか？ お手伝いしましょうか？」など声をかけて手助けをしましょう。



点字・指文字 50 音

	い	う	え	お
か	き	く	け	こ
さ	し	す	せ	そ
た	ち	つ	て	と
な	に	ぬ	ね	の
は	ひ	ふ	へ	ほ
ま	み	む	め	も
や		ゆ		よ
ら	り	る	れ	ろ
わ	を	ん	っ	
だく音		半だく音		ー
数字	数符			
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

